

外来植物の駆除にご協力ください!

外来植物とは……

これまでその場所にいなかったのに、人間の活動によって他の地域から持ち込まれた植物のことです。その中でも、生態系などに大きな影響を与えるものを**侵略的外来種**と呼びます。そして特に注意すべき外来種は、外来生物法により「**特定外来生物**」に指定され、栽培や保管、運搬、輸入、野外へまくことなどが制限されています。

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）」



侵略的外来種(植物)は繁殖力が旺盛

ほかの植物の成長を阻害し、在来植物を減らしてしまいます。
成長が速い! 拡がる!
刈っても再生する!
たくさんの種子をつける!

これらは外来植物です!

* 特定外来生物

オオキンケイギク

[キク科]
多年草

- ・ 5～7月頃、直径5～7cmの花をつける
- ・ 花は花びらも中心部も全てオレンジ色
- ・ 葉のふちはなめらか
- ・ 根元から出る葉は、3～5つに分裂する
- ・ 再生能力が高い
- ・ 土中にたくさんの種子が眠る



セイタカアワダチソウ

[キク科]
多年草

- ・ 古くから全国に広がる
- ・ 高さ2.5mに達し、密生した大群落をつくる



* 特定外来生物

アレチウリ

[ウリ科]
一年草

- ・ 8～10月頃、直径1cmの黄白色の花をつけ、秋にコンペイトウ型の果実をつける
- ・ 成長が速く、つるで拡がる
- ・ 土中にたくさんの種子が眠る



オオブタクサ

[キク科]
一年草

- ・ 高さ3mに達する
- ・ 7～10月頃、茎の先に細長い穂をつける
- ・ 大量の花粉を飛ばす
- ・ 土中にたくさんの種子が眠る



イタチハギ

[マメ科]

- ・高さ1～3mの落葉低木
- ・5～7月頃に黒紫色の花をつける
- ・萌芽力があり、成長が速い



ニワウルシ

[ニガキ科]

- ・高さ10～25mに達する落葉高木
- ・5～7月頃に黄緑色の花をつける
- ・萌芽力があり、成長が速い

駆除方法

●抜き取り ※樹木の場合は実生や雑樹を対象に

- ・根ごと、しっかり抜き取ります。
- ・土の中に根を残さないようにします。

●刈り払い ※樹木の場合はひこばえや幼樹を対象に

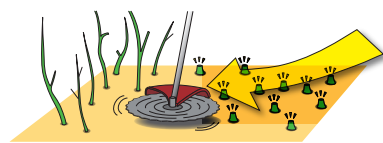
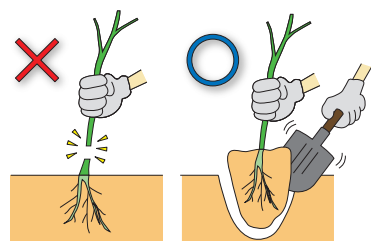
- ・刈払機や鎌などで地上部を刈り取り、成長・分布拡大を抑えます。
- ・年に複数回、種ができる前に実施します。

●根気強く、継続しましょう！

- ・抜き取っても土の中にたくさんの種子があるかもしれません。また周囲から新たに種子が入ってくることもあります。
- ・刈り取っても地中の根は生きており再生します。
- ・抜き取りや刈り払いは、根気強く継続することが必要です。

●きれいな花ですが……

- ・外来植物の多くは大きくて目立つ花をつけます。
- ・観賞用として優れたものもありますが、在来植物や生態系に被害を及ぼす外来植物であることを忘れずに、しっかり駆除してください。
- ・野外に生育する株を持ち帰って自宅に植えることはやめましょう。種子が周囲に拡がっていく可能性があります。



注意事項

- オオキンケイギクなどの「特定外来生物」に指定されたものは、生きている状態で移動・運搬することが外来生物法で禁止されています。
- 抜き取ったり刈り取ったものは、種子などがこぼれないように密閉できるゴミ袋等に入れてしっかりと枯らし、それぞれの自治体のごみ処理方法に従って処理しましょう。
- 作業終了後は、服や長靴、道具等に、種子や根などの繁殖できる部位が付着していないかを、現地でよく確認しましょう。

